

歌声喫茶つうしん

2017年8-9月号

第2回と第3回は

川内村特集！



8月と9月は川内村での歌声喫茶を2回開催しました。

2017年8月27日(日)18時～町分オルタナギャラリー、そして9月17日(月・祝)には猿原人村を会場にしての開催。川内村での歌声喫茶は、ヴォイス・オブ・フクシマにとって、大変思い入れのあるものです。2013年から仮設住宅でお年寄りの交流とストレス発散を目的にスタートしたこの歌声喫茶でしたが、ある時、川内村の方からお声をかけて頂き、出張。そこでは、地元の方達がお茶やお菓子を持ち寄り、また復興ボランティアに来ていた県外からの学生さんたちも集まり大変にぎやかな雰囲気になりました。そこでの体験から、この歌声喫茶は「地域の人々の交流にもつながる」と私たち自身が実感したんです。



そんな川内村で今回一緒に活動をしてくださったのは、この町分オルタナギャラリーを運営する中村雄紀さん、風見まさいさんを始めとする村在住のみなさんです。川内村は、震災直後には双葉郡からの避難者を受け入れ、その後村民避難、2012年に「帰村宣言」を出し、新しい村づくりを行っています。今回会場の1つとなった町分オルタナギャラリーは、かつて保育園だった建物をリフォームし、町民の交流の場として活用されています。川内村は、村の出身者と震災後に移住してきた若者たちが共存し、さまざまなアイデアを出し合いながらより住みやすい村を作ろうとイベントなども積極的に行っています。

当日はそれぞれ約30名の方々が参加してくださいました。町分オルタナギャラリーの歌声喫茶会場は、保育園時代お遊戯室として使われていた部屋。そこに、地元の方々が持ち寄ったソファやテーブル、カーペットなどが置かれ、とても温かい空間になっていました。猿原人村の会場は、「ドーム」と呼ばれるとても不思議な空間。天井がアーチ状になっているので、マイクを通さなくても声が反響します(!!)3歳くらいの小さな参加者さんから「となりのトトロ」の主題歌「さんぽ」のリクエストをもらい、大人も子どもも一緒になって歌いました。あっという間のひととき。こちらが「そろそろラスト1曲です」と言うと「えーっ！」という反応が。こういうのが、うれしいんですね♪

川内村のみなさま、ご参加ありがとうございました。

※次回はクリスマス会！！12月23日(土)に町分オルタナギャラリーにて開催を予定しています。

詳細は町分オルタナギャラリー中村さんにお問い合わせください。



<当日の歌った（リクエスト）曲一部紹介>

あの素晴らしい愛をもう一度 / 加藤和彦と北山修

なごり雪 / イルカ

見上げてごらん夜の星を / 坂本九

上を向いて歩こう / 坂本九

少年時代 / 井上陽水

北国の春 / 千昌夫

さんぽ / 井上あずみ

など、約20曲ほどを2時間で歌いました。

・三ヶ条・

ヴォイス・オブ・フクシマの **歌声喫茶**

一、みんなで元気に歌いましょう！

（合唱やカラオケとは違います、ヘタだから・・と恥ずかしがらずに♪）

一、歌いたくないという人は聞いているだけでもOK！

一、他の参加者の方と楽しくおしゃべりしちゃいましょう！

歌いたい歌
聴きたい歌を
リクエストください。
良かったら前に出て
一緒に歌いましょう！



●12月23日(土)●川内村『町分オルタナギャラリー』にて歌声喫茶を開催します。

詳細は町分オルタナギャラリー中村さんにお問い合わせください。

下記、ヴォイス・オブ・フクシマのホームページやSNSでも詳細を告知しますので、ぜひご覧ください。

バンド名

<・・・冒険少年サーカス メンバー紹介・・・>

ヴォイス・オブ・フクシマ主催の歌声喫茶、演奏メンバーをご紹介します



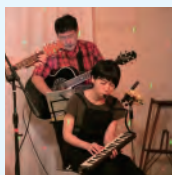
Jackあまの:歌、おしゃべり、ギター

原発事故により郡山市に避難してきた人々の大規模避難所となっていた「ビックバレットふくしま」の避難所運営などを行い、以後「震災関連死」の研究や、避難者らのコミュニティ再構築などの分野に力を注いでいます。



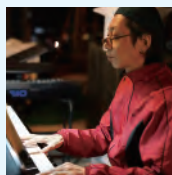
佐藤正彦:ギター

ギタリスト・ミュージシャンの顔も持つラジオ番組ディレクター。ビックバレットふくしま時代から始まった富岡町臨時災害FM「おだがいさFM」の立ち上げにも協力、現在までスタッフとして取材・番組制作を担っています。



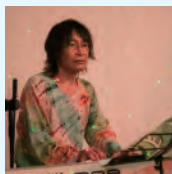
久保田彩乃:ピアノ・カホン、その他

ラジオパーソナリティーとして2013年から富岡町臨時災害FM「おだがいさFM」に関わり、取材・番組制作もなっています。2012年から、佐藤正彦と共にヴォイス・オブ・フクシマの活動をスタートさせました。



野島健太郎:キーボード

プロのギタリスト・ピアニストとして、これまで多くのバンドに関わり、映画音楽なども手がける。震災後「福島で何かしたい」と思い立ち、2014年から移住し、音楽活動を続けています。



8月27日ゲスト:大谷哲範

70年代より音楽活動を始め、キーボードプレイヤーとして、尾崎豊、TUBE、織田哲郎など、様々なアーティストのツアーやレコーディングに参加。また、心理カウンセラーとしての活動もおこなっており、主宰する団体は、3.11以降、40000件を超える相談実績がある。



9月17日ゲスト:栗原唯史

東京都出身、福島市在住。中学高校と管弦楽部に所属。高校在学中からバンド活動を開始。大学の友人らとバンドを結成し、都内を中心に趣味の音楽活動を継続中。現在、福島大学院で復興研究をおこなう傍ら、「荻窪1979」"ソラカラフル"のメンバーとしても活動中。

一般社団法人ヴォイス・オブ・フクシマが主催する歌声喫茶は、双葉郡からの避難者と地域の人々をつなぐため、また町へ帰還した人々の交流を進めるために行っています。



ヴォイス・オブ・フクシマ voice-of-fukushima.com

代表メール info@voice-of-fukushima.com



やってます

ヴォイス・オブ・フクシマ

SEARCH

【つぶやきは #v_o_f で♪】

